

平成26年度 学術情報システム総合WS グループ討論 (8/28-29)

国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術コンテンツ課

高橋菜奈子

今回の研修の位置づけ

- 3回の集合研修と自館における研修

7/3-4		8/28-29		11/21	12/12
集合研修	自館研修	集合研修	自館研修	集合研修	成果提出
ビジョンを共有する	課題解決のための調査計画を策定する	グループの課題解決のための計画を確定する	計画を実施する	成果の発表とフィードバック	成果を文章の形でまとめる
研修の趣旨とゴールを共有し、当面の作業課題を設定する。	各グループ内で相談しながら、調査計画策定のための情報を収集する。	調査計画を具体化し、その中で自分の役割を明確にする。	各グループで相談しながら、計画を実行し、結果をまとめる。	成果を発表し、今後のための助言をうける	

ワークショップの3つのルール

- ①全員が参加する。
- ②違う意見を尊重する。
- ③全員が平等である。

楽しく、粘りよく、ディスカッションしましょう！

ウォーミングアップ

- 全体でウォーミングアップ
- 一人一言：「夏休みの思い出」

- 同じグループの人(3人1組)でプレゼンテーション前の打合せを行ってください。

9時45分になったらはじめます！

中間報告会のカリキュラム（8/28）

9:30-9:45	15分	プレゼンテーション準備
9:45-12:00	135分	グループプレゼンテーション
12:00-13:00	60分	《昼食》
13:00-13:30	30分	全体討議：ビジョンを共有する
13:30-14:15	45分	講義：利用分析
14:15-15:00	45分	実習：ログ解析
15:15-17:00	105分	グループ討議：調査計画を見直す
17:00-17:30	30分	グループまとめ

中間報告会のカリキュラム（8/29）

9:30-9:45	15分	ウォーミングアップ
9:45-10:30	45分	補講：予備調査の結果解説
10:45-12:00	75分	グループ討議：計画を詳細化する
12:00-13:00	60分	《昼食》
13:00-14:45	105分	グループ討議：計画を詳細化する
15:00-16:00	60分	グループ討議発表
16:05-16:50	45分	グループ討議まとめ
16:50-16:55	5分	全体まとめ・ふりかえり
16:55-17:00	5分	事務連絡

プレゼンテーション

グループプレゼンテーション (9:45~)

- 1グループ30分で発表してください。
- 質疑応答は30分です。

全体討議

本ワークショップの狙い

- 個別の機関で解決不能な共通する課題について、連携・協力して取り組み、問題解決を図ることのできる総合力を身につける。
- ワークショップでアイデアを出し合うだけではなく、その実現のために**実際的な調査**を行うことで実践的な問題解決への道筋をつける。
- 全体テーマに即した個別の作業課題を設定し、グループや講師とのコミュニケーションを通じて、**連携・協力して成果**を出す。

今年度のテーマ：

学術情報サービスにおけるユーザー理解

- 図書館サービスは、従来の来館者サービスだけではなく、OPAC、ディスカバリーサービスをはじめとして、ウェブサイトにおけるさまざまなデジタルサービスの比重が増してきている。
- そのサービスを適切に評価し、改善を図るためには、来館者サービスの評価とは別の手法が求められてくる。
- 本研修では、よりよい学術情報サービスをもとめて、ユーザーの行動を分析することによって、エビデンスに基づいたサービス改善の提案ができるようになることを目的とする。
- 2つのグループ設定
 - (1) 利用者の行動観察
 - (2) 利用ログの分析

全体討議：ビジョンを共有する

- 全体のビジョンを共有する
 - ①ユーザーの利用分析 → ユーザーを理解 →
 - ②サービスを適切に評価 →
 - ③エビデンスに基づいたサービス改善 → よりよい学術情報サービス
- 各班の取組み
 - (1班)ユーザーの行動観察
 - ①
 - ②
 - ③
 - (2班)利用ログの分析
 - ①
 - ②
 - ③

今回のゴール

今回

- **グループの調査計画を確定する**
- 調査計画を具体化し、その中で自分の役割を明確にする。

宿題

- 調査を実施し、結果をまとめる。
- 各グループ内で相談しながら、最終報告会の資料を提出する。

提出物：概要（パワーポイント）

調査結果（データ等）

※切：11月17日（月）17:00

次回

- グループ発表（45分）をしてもらいます

講義・実習

講義・実習

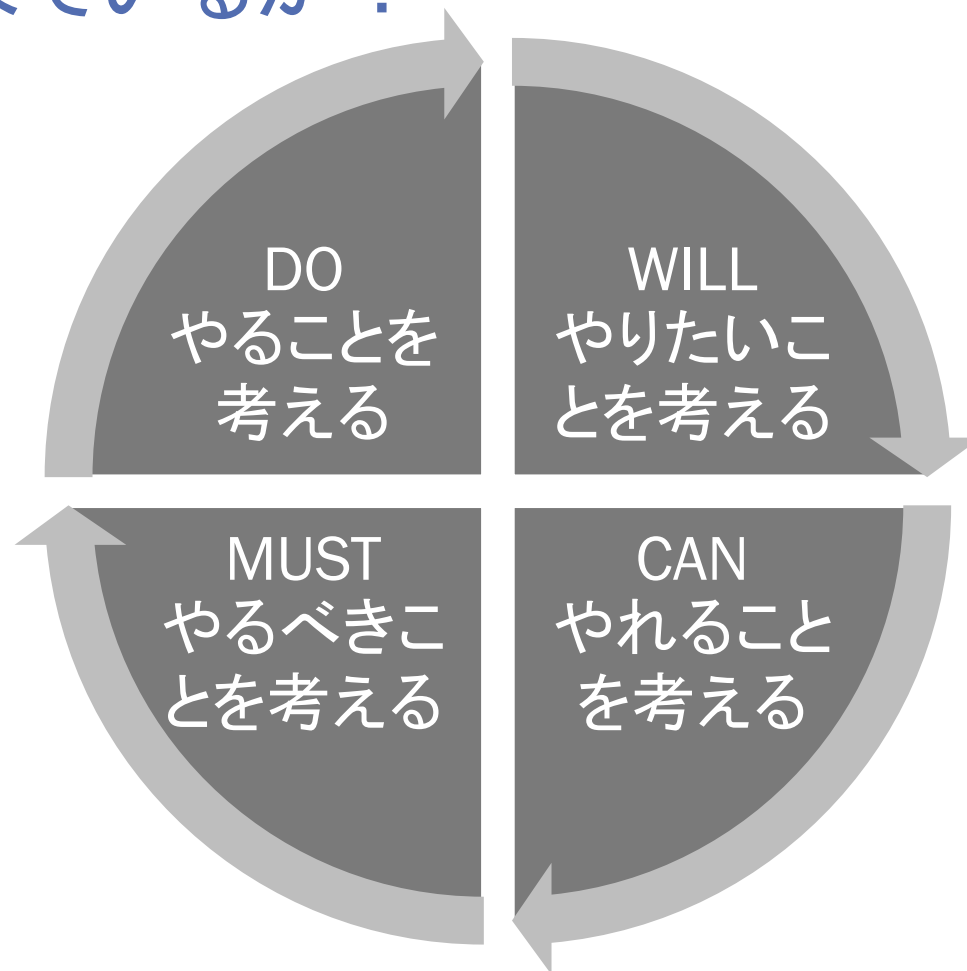
- 大向一輝先生
- 講義「利用分析」
- 実習「Google Analytics実習」

グループ討議：1日目

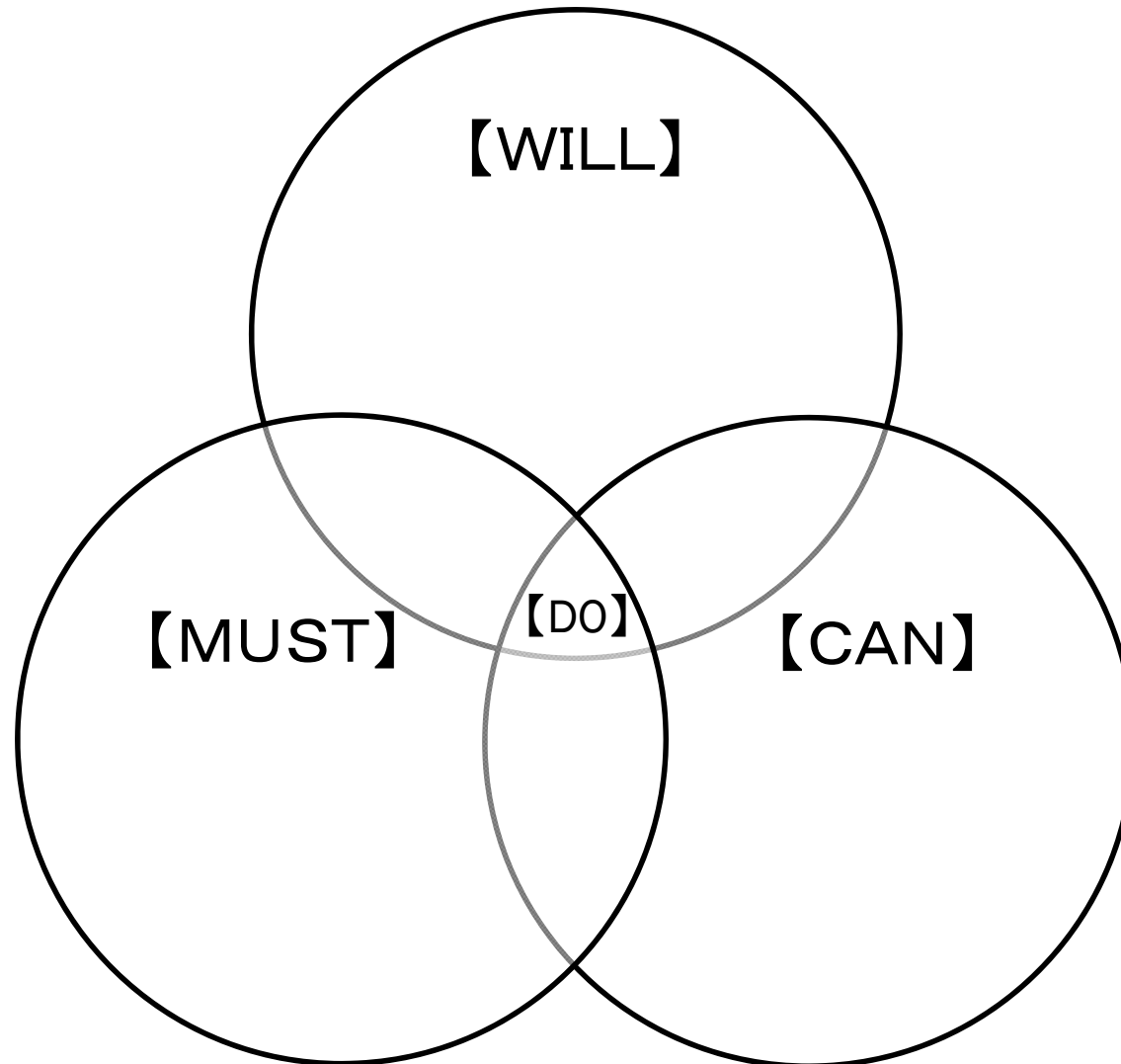
グループ討議：計画を見直す

私たちはどこまで来ているか？

- 計画書の作成で、自分たちのやりたいことを考えた。
- 今回のグループ討議では、制約条件を考えて、やれることを考えてみよう。
- 何かを捨てなくてはならないときは、やるべきことを考えて残そう。



グループ討議：計画を見直す



初日のまとめ（17：00～）

- 今日のまとめを17時00分から行います。
- 発表の形式にこだわる必要はありません。議論のポイントをまとめてください。

グループ討議：2日目

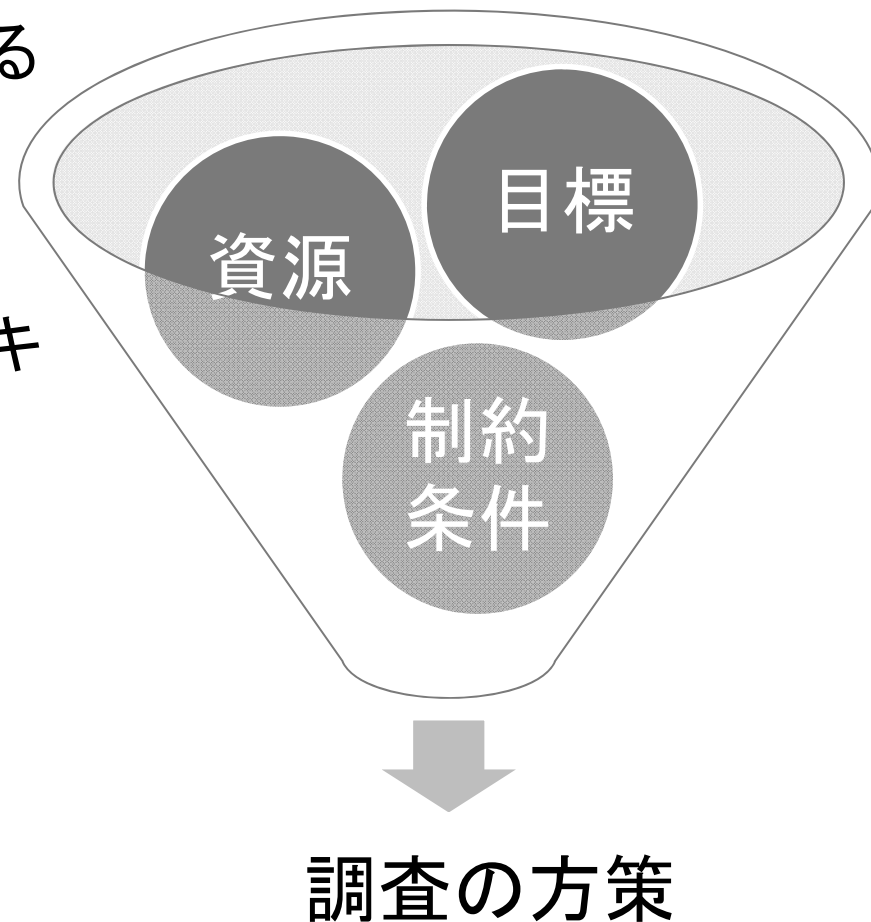
ウォーミングアップ

- 挙手アンケートでお互いの資源を引き出そう
 - 「〇〇をやったことがある人」
 - 「〇〇を知っている人」
 - 「〇〇が好きな人」
 - 「こんな特技がある人」
 - 「こんな経験がある人」

グループ討議：方法を詳細化する

- 【目標】
- 私たちは何を指しているのか？
- 【資源】
- 既に存在するツール
- 自分たちの持っているスキル
- 【制約条件】
- 次回までの時間

→実際に採りうる方策は？
ゴールをどこに置くか？



補講：予備調査の結果解説

- 予備調査で出てきたデータを紹介してください。
- 佐藤翔先生・大向一輝先生から、これからの調査・分析に向けたアドバイス解説をしてもらいます。

グループ討議：方法を詳細化する

- 計画していた方法の課題は何か？
 - 制約条件は考慮できているか？
 - 資源は活用できているか？
 - 知りたい結果を得るためによりよい方法はあるか？
- 今回の調査計画の位置づけは明確か？
 - 今回の調査の範囲は明確か？
 - 分析から結果への見込みはあるか？
- 役割分担はできているか？
 - 自分の得意分野を活かしてチームに貢献できるか？
- **14時30分までに**、チームの調査計画をまとめてください。

グループ発表（15：00～）

発表

- 次回までの計画について、グループごとに発表してください。
- 次回までの個人の作業課題についても、発表内容に含めてください。
- 発表の形式にこだわる必要はありません。
- 時間は1グループ10分以内

意見交換

- 講師・オブザーバー・受講生からのコメント・意見交換（20分）

グループ討議まとめ

- グループ発表の結果を振り返りましょう。
 - 次回にむけての最後の軌道修正の時間です。
- 計画書をドキュメントに起こして、提出してください。
(提出期限: 9月4日(木))
 - 当初のパワーポイントを改訂でもよいし、
 - 改訂でなくて、最初から作るのもよいです。

振り返り

- 静かに今回のWSを振り返りましょう。
 - この2日間どんなことがありましたか？
 - 一番印象に残ったことは何ですか？
 - なぜそう思うのでしょうか？ポイントは何でしょうか？
 - 次回にむけての教訓は何でしょうか？
- 今回の気づきを2ストライク3ボールで、後日、アンケートフォームにお書きください。

次回までの作業課題を確認する

計画書の再提出

- 各グループ内で相談しながら、計画書改訂版を提出する。

※切: 9月4日(木) 17:00

アンケート

- 今回の振り返りを2ストライク3ボールで。
- →提出方法は事務局から、別途、指示します。

次回までの作業課題を確認する

成果報告

- 各グループ内で相談しながら、最終報告会の資料を提出する。

提出物：調査の概要（パワーポイント）

調査結果（データ等）

〆切：11月17日（月）17:00

→次回、グループプレゼンテーション（45分）をしてもらいます。